

事業番号	02 05 02	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	空港管理費			担当課	部局	企画振興部	
					課・室	交通政策課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 3 信州まつもと空港の活性化		実施期間	S40 ~		

1 事業の概要

目指す姿	空港施設の諸機能が健全に発揮されるよう、日常の点検等を行うとともに、施設の修繕や滑走路面の舗装、設備の更新、空港周辺の環境整備などを地元地区の理解と協力を得ながら計画的に行うことで、安全・安心な空港を目指す。 成果目標: 信州まつもと空港利用者数 76千人(H23) → 120千人(H29)	
現状	○ジェット化から約19年経ち、施設の老朽化が進み、現在滑走路、南誘導路の全面再舗装を実施している。 ○平成22年6月からフジドリームエアラインズが就航し、ジェット機により毎日運航されているほか、チャーター便、民間小型機や消防、警察への発着など、空港は引き続き重要な役割を担っている。	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施: 困難	【左記の説明、根拠法令等】 国のガイドラインにより、空港の維持管理は設置者である県の責務である。国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である。長野県松本空港条例、騒音防止工事補助金交付要綱

① 成果目標 (H25)

○定期便等の利用者数 H29年度 120千人に向け、H25年度 80千人  
(設定理由: 空港の利用状況を表す定期便とチャーター便の利用者数について、定期便の利用率向上とチャーター便運航数の増加を目指して80千人と設定)  
○信州まつもと空港を発着する定期便等の就航便数 1,480便  
(設定理由: 空港の利用状況を表す航空機の就航便数について、チャーター便の就航便数の増加を目指して1,480便と設定)

② 事業内容 (単位: 千円)

項目	実施方法	H25事業実績	H25		H26
			(当初)	(決算)	(当初)
1. 大規模改修工事	請負・委託	・滑走路再舗装工事(実施延長=620m)等	0	148,544	80,000
2. 空港機能強化	購入・補助	・ベルトローダー、旅客案内装置、空港用化学消防車、トーチングトラクター、搭乗橋更新	0	14,060	202,749
3. 施設修繕等	請負・直接	・滑走路等標識再塗装、灯火等修繕、消防除雪車庫屋根改修工事、燃料費、光熱水費等	59,541	66,909	59,664
4. 各種保守管理業務委託	委託	・消防警備委託、灯火保守管理委託、除雪業務委託、緑地管理委託等	90,622	102,851	99,360
5. ハイジャック等防止対策事業	補助金	・保安検査員の配置、保安検査用機器の更新(補助率: 県1/2) 交付先: ㈱フジドリームエアラインズ	17,526	17,197	23,318
6. 空港周辺の環境整備	補助金	・空港周辺住宅騒音防止工事機能回復助成(補助率: 県3/4)	372	201	372
合計			168,061	349,762	465,463

区分	単位: 千円	23年度	24年度	25年度	26年度	
		前年度繰越	32,550		161,762	
予算額		347,210	384,417	168,061	465,463	
		補正予算	-3,764	156,288	45,455	
		合計(A)	375,996	540,705	375,278	465,463
コスト	国庫支出金	77,926	160,760	116,380		
	県債	70,000	152,000	79,000		
	その他(使用料等)	12,270	12,122	8,464	291,680	
	一般財源	215,800	215,823	171,434	173,783	
決算額(B)		367,734	365,847	349,762		
概算人件費	職員数(人)	8.00	8.00	8.00	8.00	
	概算人件費(C)	66,064	66,064	66,064	66,064	
	概算事業費(B(A)+C)	433,798	431,911	415,826	531,527	

項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
信州まつもと空港利用者数	77千人	80千人	85千人	達成	90千人
就航便数	1440便	1480便	1457便	未達成	1540便

目標に対する成果の状況	適正な維持管理を行った結果、定期便をはじめチャーター便や民間小型機等の安全運航と利用者の安全を確保した。利用者数について、国内チャーター便や冬期間の利用者の増加により目標を達成することができたが、就航便数については、国際チャーター便の運航本数が少なかったことなどにより成果目標を達成できなかった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	松本空港はジェット化開港後20年を迎え、新たな発展に向けて路線拡充等に取り組む必要があることから、その基盤となる空港及び空港ターミナルビルの施設、設備について、一体的に機能強化を図っていく。

## 大規模修繕・空港機能強化事業

### 1 趣旨

信州まつもと空港は、平成6年7月にジェット化開港し20年を迎えることから、施設・設備の更新を進め、新たな飛躍に向けた空港と空港ターミナルビルの一體的な機能強化を図ります。

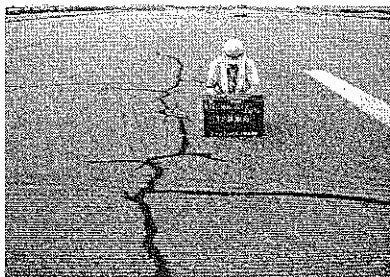
### 2 内容

区分	施設・機材・設備	概要	備考	
大規模修繕	滑走路、誘導路	ジェット化開港以来大規模な改修がされていなかった滑走路、誘導路について、航空機の安全な運航を確保するため、平成22年度から国庫補助事業により、順次再舗装(舗装打換え)工事を実施。	22～25年度で施工	
	北エプロン舗装改修実施設計	舗装の老朽化や重量機材の利用に対応するため実施する舗装工事発注に必要な各種工事数量や舗装勾配の設計、エプロン内スポット割の検討等を行う。	25年11月～26年3月実施	
機能強化	ベルトローダー	航空機の貨物室に手荷物等を搬出入する屋根付きの同機材を配備し、雨天や降雪時であっても、定期便の離発着を円滑に行う。	26年3月更新	
	化学消防車	大量の水槽と強力な放水力を有する大型消防車を配備し、航空事故時の迅速な消火救難活動を可能とする。	27年3月更新予定	
	トーイングトラクター	航空機をプッシュバックする同機材を配備し、定期便の離発着を円滑に行う。	26年8月更新	
	旅客サービス向上※	旅客案内装置	液晶タイプの案内装置を設置することで、定期便の増便やチャーター便の就航時等の運航情報の改変に対応する。	26年3月更新
		搭乗橋	旅客ターミナルビルと航空機を直結する移動式の橋を設置することで、旅客の乗降の安全性と利便性を確保する。	26年12月更新予定

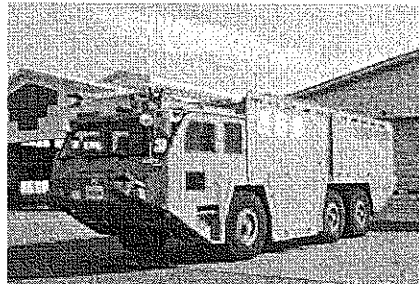
※ 旅客サービス向上に係る事業は、松本空港ターミナルビル株式会社への補助事業として実施

#### 更新機材・設備

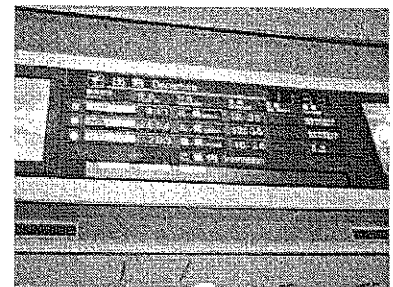
(写真は現在の機材)



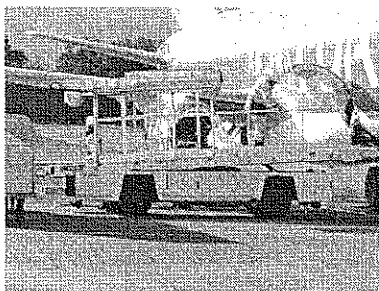
滑走路舗装のひびわれ(改修前)



化学消防車



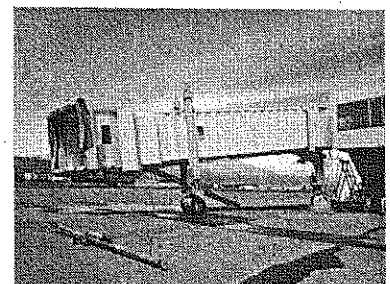
旅客案内装置



ベルトローダー



トーイングトラクター



搭乗橋